理　科

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東　書 ◆	理科　００２－７２ ００２－８２ ００２－９２	ＡＢ 902	令和６年
4	大日本図書	大日本 ◆	理科　７０２ ８０２ ９０２	Ｂ５ 986	令和２年
11	学校図書	学　図 ◆	理科　０１１－７２ ０１１－８２ ０１１－９２	ＡＢ 872	令和６年
17	教育出版	教　出 ◆	理科　０１７－７２ ０１７－８２ ０１７－９２	ＡＢ変型 953	
61	新興出版社啓林館	啓林館 ◆	理科　０６１－７２ ０６１－８２ ０６１－９２	ＡＢ 980	

※「発行者　略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第２項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

校　種		聴覚障害特別支援学校	肢体不自由・病弱特別支援学校
生徒の実態 観点		・両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上で、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度である。	・肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度である。 ・慢性の疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度である。
内容の取扱い等	1　障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等	①視覚的な方法等を活用して、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。	①上肢の操作を伴うものであっても、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付き、生活経験を広げる学習活動が示されているもの。
	2　障害への配慮を要する内容等	①言葉や音を聞き取る活動があり、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。	①上肢の操作を伴うため、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。
構成上の工夫	障害の状態に応じた事項、その他	①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。	①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。

中学部　理科(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者			東書	大日本	学図
内容	内容区分のページ数	第1分野	411	440	364
		第2分野	399	438	340
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野	46	41	49
		第2分野	35	35	39
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野	265	286	198
		第2分野	321	274	274
	発展的な内容を取り上げている箇所数		62	86	58
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。		17箇所 ①3年「仕事と力学的エネルギー」では、球を転がして木片に当て、木片が動いた距離により仕事の大きさを調べる工夫を示している。(P171)	15箇所 ①2年「回路の電流」では、直列回路と並列回路に流れる電流の大きさを、つないだ豆電球の光の明るさにより確認する工夫を示している。(P168-171)	12箇所 ①1年「気体の性質」では、試験管の中の気体を、中に入れた線香の燃え方の観察を通して調べる工夫を示している。(P78)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。		5箇所 ①1年「音の大きさや高さ」では、救急車が通り過ぎるときのサイレンの音の大きさや高さの違いに触れており、取り扱う際に配慮が必要である。(P165)	6箇所 ①1年「音の大きさや高さ」では、手作りの楽器の音階を調整した上で、曲を演奏する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P170)	4箇所 ①1年「音の大きさ・高さ」では、弦楽器から出る音の大きさや高さと弦の振動との関係を調べる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P125)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ		1年最初　10ポイント 3年最後　10ポイント	1年最初　11ポイント 3年最後　10.5ポイント	1年最初　11ポイント 3年最後　10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数		1年最初　29文字×10行 3年最後　29文字×16行	1年最初　27文字×10行 3年最後　27文字×21行	1年最初　28文字×12行 3年最後　28文字×12行
	①欄外の文字の大きさ		1年最初　7ポイント 3年最後　9ポイント	1年最初　7.5ポイント 3年最後　7.5ポイント	1年最初　8ポイント 3年最後　7.5ポイント
	②ふりがな		未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	③折り込みページの箇所数		0箇所	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。		①1年「物質の状態変化と体積・質量の変化」では、温度変化による粒子の結び付きや運動の状態の変化を、教室内外での生徒の動きに例えて示している。(P122) ②単元ごとに、観察・実験などを通して解決する課題を、色付きの背景と白抜き文字で示している。(1年P16など)	①3年「生物の成長と細胞」では、植物と動物の体細胞分裂による染色体の複製の流れを、イラストと染色体の写真で示している。(P93) ②随所に、これから学んでいく学習の課題を、色付きの枠囲みと太字で示している。(1年P11など)	①3年「イオンの化学式」では、原子が電子を放出したり受け取ったりして陽イオンや陰イオンになる様子をイラストで示している。(P126) ②随所に、学習の導入で生じた疑問を解消するための課題を、太字に黄色のマーカーを引いて示している。(1年P23など)
参考	防災や自然災害の扱い		あり	あり	あり
	脱炭素化に関する扱い		あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い		あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い		あり	あり	なし

中学部　理科(聴覚障害特別支援学校)

教科書発行者			教出	啓林館
内容	内容区分のページ数	第1分野	432	422
		第2分野	412	394
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野	37	47
		第2分野	29	31
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野	214	267
		第2分野	209	325
	発展的な内容を取り上げている箇所数		69	57
	聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①視覚的な方法等を活用して、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。		13箇所 ①1年「光の反射」では、様々な角度から鏡に光を当て、入射角と反射角との関係を調べる工夫を示している。(P209)	18箇所 ①2年「物質どうしが結びつく変化」では、鉄と硫黄の混合物に磁石を近付け、化学変化による物質の性質の変化を観察する工夫を示している。(P174-175)
	聴覚障害への配慮を要する内容等について ①言葉や音を聞き取る活動があり、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。		7箇所 ①1年「音の伝わり方」では、入れる水の量を変えたビーカーをたたき、音の違いを確認する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P59)	4箇所 ①1年「音の大小と高低」では、オシロスコープを用いて音の大きさや高さと振動との関係を調べる活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P226)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ		1年最初　13ポイント 3年最後　12ポイント	1年最初　11ポイント 3年最後　10ポイント
	1ページの基本的な文字数		1年最初　37文字×7行 3年最後　39文字×13行	1年最初　23文字×5行 3年最後　26文字×21行
	①欄外の文字の大きさ		1年最初　7ポイント 3年最後　8ポイント	1年最初　8.5ポイント 3年最後　7.5ポイント
	②ふりがな		未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	③折り込みページの箇所数		3箇所	12箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①聴覚の障害を補えるように、概要や手順を写真、図表等で視覚的に説明しているもの。 ②聴覚の障害による読解への配慮として、学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。		①1年「動物の分類」では、脊椎動物と無脊椎動物について、それぞれの動物の特徴を手掛かりに、図と写真を用いて分類して示している。(P62) ②随所に、これから学んでいく学習の課題を、色付きの背景と枠囲みに太字で示している。(1年P108など)	①2年「空気中にふくまれる水蒸気の量」では、温度と水蒸気量の関係で飽和水蒸気量が変化することをイラストで示している。(P90) ②随所に、これから学んでいく学習の課題を、色付きの背景と太字で示している。(1年P5など)
参考	防災や自然災害の扱い		あり	あり
	脱炭素化に関する扱い		あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い		あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い		あり	あり

中学部　理科(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者			東書	大日本	学図
内容	内容区分のページ数	第1分野	411	440	364
		第2分野	399	438	340
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野	46	41	49
		第2分野	35	35	39
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野	265	286	198
		第2分野	321	274	274
	発展的な内容を取り上げている箇所数		62	86	58
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付き、生活経験を広げる学習活動が示されているもの。		29箇所 ①2年「気象の観測」では、温度計や風向計などを使って気象を調べる活動で、自動記録計やコンピュータを使って確認する工夫を示している。(P181) ②2年「天気の変化の予測」では、過去の天気図をもとに天気の変化を調べ、翌日の気圧配置や天気を予想する活動がある。(P215)	33箇所 ①1年「校庭や学校周辺の生物」では、校庭周辺の生物を観察する活動で、観察できそうな生物を図鑑やインターネットで調べる工夫を示している。(P21) ②3年「遺伝子を扱う技術について考えよう」では、遺伝子組換え食品について、利点や問題点など多面的に考える活動がある。(P129)	21箇所 ①2年「電子と電流」では、ストローをこすって静電気を発生させる活動で、取り扱いやすいいろいろな物質を使って試す工夫を示している。(P182) ②2年「化学変化と熱」では、カイロや加熱できる弁当を例に、物質の化学変化による発熱反応について考える活動がある。(P61)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。		25箇所 ①3年「生物の成長と細胞の変化」では、顕微鏡で観察するために、ピンセットや爪楊枝を使ってプレパラートを作る活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P79) ②2年「ホットケーキの秘密」では、材料に卵を含むホットケーキを焼き、膨らむ理由を考える活動があり、アレルギー疾患への配慮が必要である。(P16)	21箇所 ①2年「生物の体をつくっているもの」では、タマネギにカッターナイフで切れ目を入れ、表皮をはがす活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P85) ②1年「火山の活動」では、原材料に小麦粉を含むホットケーキミックスを使ってマグマの粘り気を調べる活動があり、アレルギー疾患への配慮が必要である。(P205)	18箇所 ①1年「力のつり合い」では、2本のばねばかりを同時に引いたり、押し棒を同時に押したりする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P140) ②該当なし
構成上の工夫	本文の文字の大きさ		1年最初　10ポイント 3年最後　10ポイント	1年最初　11ポイント 3年最後　10.5ポイント	1年最初　11ポイント 3年最後　10.5ポイント
	1ページの基本的な文字数		1年最初　29文字×10行 3年最後　29文字×16行	1年最初　27文字×10行 3年最後　27文字×21行	1年最初　28文字×12行 3年最後　28文字×12行
	欄外の文字の大きさ		1年最初　7ポイント 3年最後　9ポイント	1年最初　7.5ポイント 3年最後　7.5ポイント	1年最初　8ポイント 3年最後　7.5ポイント
	ふりがな		未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	折り込みページの箇所数		0箇所	0箇所	0箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。		①単元の最後に、単元で扱った事項の要点を、説明と図により見開きで示している。(1年P64-65など) ②3年「身のまわりの電池」では、身の回りで使われている電池の特徴を説明するとともに、外見を写真で示している。(P61)	①単元の最後に見開き1ページで、学習のキーワードとポイントを簡潔にまとめて示している。(2年P74-75など) ②1年「地層のでき方」では、土砂が上流から下流に運搬、堆積して扇状地に変化する様子を写真と図で示している。(P236-237)	①単元の最後に、学習のまとめとして用語を覚えるページと基本問題に慣れるページに整理して示している。(1年P43-44など) ②2年「前線にともなう雲の分類」では、雲の形や高さ、暖気と寒気の空気の流れを写真とイラストで示している。(P264-265)
参考	防災や自然災害の扱い		あり	あり	あり
	脱炭素化に関する扱い		あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い		あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い		あり	あり	なし

中学部　理科(肢体不自由・病弱特別支援学校)

教科書発行者			教出	啓林館
内容	内容区分のページ数	第1分野	432	422
		第2分野	412	394
	観察・実験を取り上げている箇所数	第1分野	37	47
		第2分野	29	31
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	第1分野	214	267
		第2分野	209	325
	発展的な内容を取り上げている箇所数		69	57
	肢体不自由・病弱の生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について ①上肢の操作を伴うものであっても、観察や実験等の学習活動が工夫できるもの。 ②生活に結び付き、生活経験を広げる学習活動が示されているもの。		28箇所 ①3年「金属のイオンへのなりやすさ」では、顕微鏡で観察する活動に代えて、硫酸銅水溶液の中に銅を入れて観察する工夫を示している。(P46) ②1年「光の屈折」では、水の入ったカップの中にある物体を見て、屈折による物の見え方の変化を確認する活動がある。(P217)	31箇所 ①2年「原子が結びついてできる粒子」では、画用紙等により分子モデルを工作する活動で、パソコン上で分子モデルを作る工夫を示している。(P156) ②3年「酸性・アルカリ性の強さ」では、ミカンの缶詰を作る過程で、酸やアルカリの水溶液が果たしている役割を考える活動がある。(P151)
	肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について ①上肢の操作を伴うため、観察や実験等の学習活動に困難が想定されるもの。 ②アレルギー疾患等に関わる配慮が必要なもの。		23箇所 ①2年「電流がつくる磁界」では、エナメル線を10回巻き、その上からセロハンテープを巻き付けて固定する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P253) ②1年「マグマの性質と火山」では、小麦粉を使ってマグマの粘り気と火山の形を調べる活動があり、アレルギー疾患への配慮が必要である。(P164)	18箇所 ①1年「花のつくり」では、花の部位をピンセットやカッターナイフで分解したり、切り分けたりする活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P21) ②2年「物質を加熱したときの変化」では、小麦粉、卵を含むどら焼きの生地を焼いて膨らみを調べる活動があり、アレルギー疾患への配慮が必要である。(P141)
構成上の工夫	本文の文字の大きさ		1年最初　13ポイント 3年最後　12ポイント	1年最初　11ポイント 3年最後　10ポイント
	1ページの基本的な文字数		1年最初　37文字×7行 3年最後　39文字×13行	1年最初　23文字×5行 3年最後　26文字×21行
	欄外の文字の大きさ		1年最初　7ポイント 3年最後　8ポイント	1年最初　8.5ポイント 3年最後　7.5ポイント
	ふりがな		未習得及び難読漢字	未習得及び難読漢字
	折り込みページの箇所数		3箇所	12箇所
	障害の状態に応じた事項、その他 ①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。 ②体験の不足を補えるように、写真、図表等で視覚的に説明されているもの。		①単元の最後に、単元で扱った事項の要点と重要用語を見開きでまとめて示している。(3年P60-61など) ②3年「調べてみよう身近な自然災害」では、地震災害や火山災害の様子をイラストで示している。(P276-277)	①単元の最後に、章ごとの重要語句と語句の解説を見開きでまとめて示している。(2年P60-61など) ②1年「大地の恵みと災害」では、日本各地の大地の恵みと災害の様子を写真で示している。(P114-115)
参考	防災や自然災害の扱い		あり	あり
	脱炭素化に関する扱い		あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い		あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い		あり	あり